

平成 27 年食中毒発生状況の概要について

平成 28 年 7 月

厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部

1. 発生状況（事件数，患者数，死者数）

平成 27 年に国内で発生した食中毒事件数は 1,202 件（対前年+226 件），患者数 22,718 人（対前年+3,363 人），死者数 6 人（前年比+4 人）であった。

また，患者 500 人以上の食中毒は 2 件発生した（前年は 4 件）。

2. 月別発生状況

食中毒事件の発生が最も多かった月は，1月の 153 件（12.7%）で，次いで2月の 152 件（12.6%），3月の 142 件（11.8%）の順であった。患者数では，3月の 4,085 人（18.0%），1月の 4,001 人（17.6%），12月の 2,931 人（12.9%）の順で多かった。

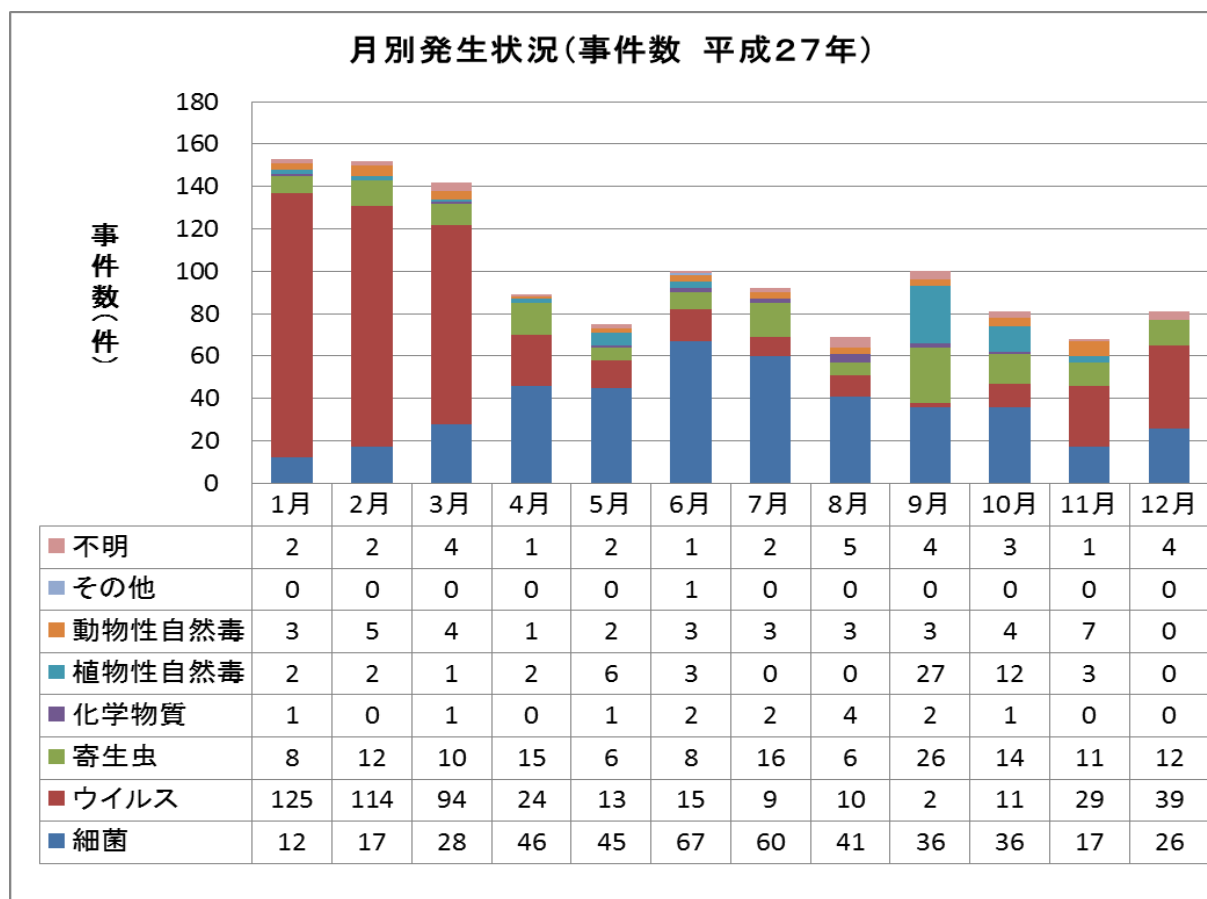


図 1：平成 27 年月別発生状況（事件数）

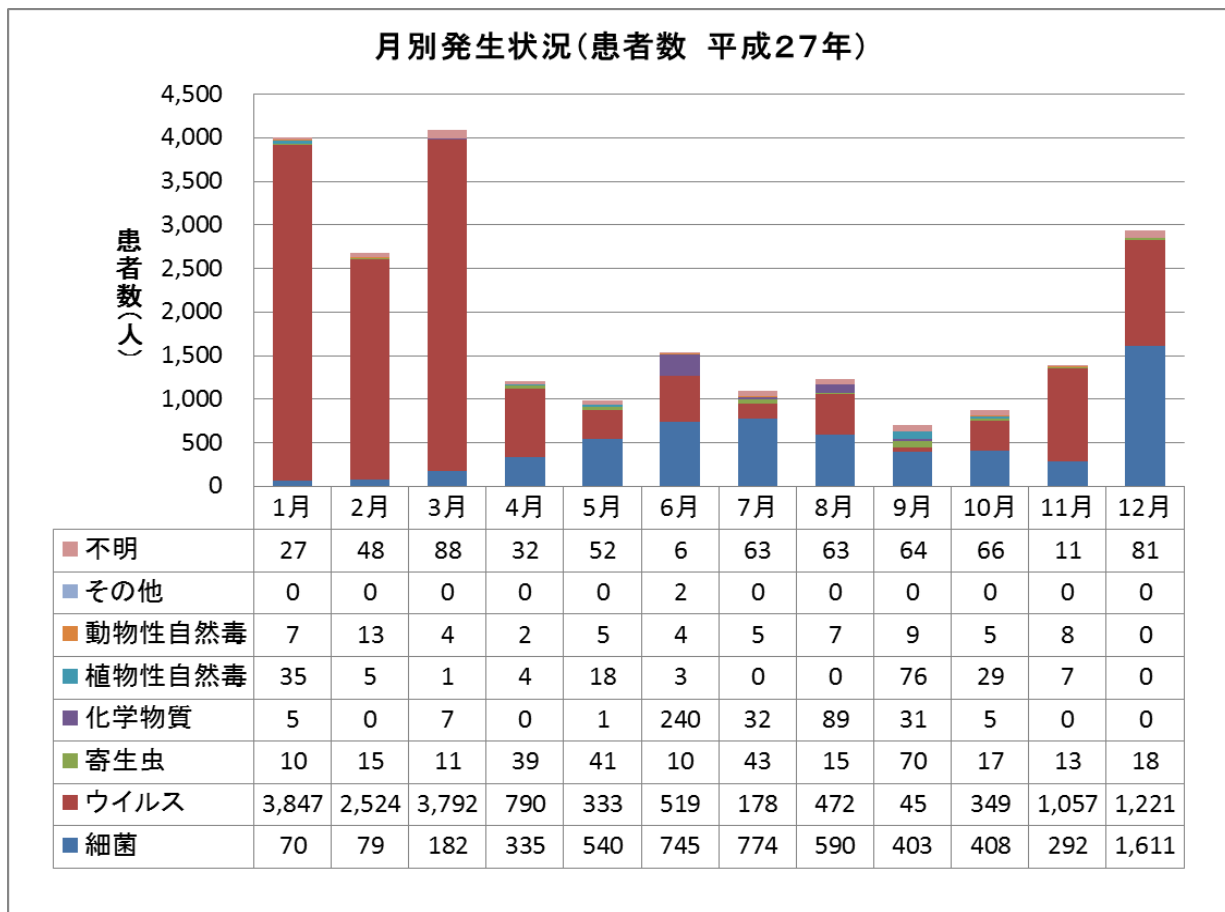


図 2 : 平成 27 年月別発生状況 (患者数)

3. 病因物質別発生状況

- 病因物質別の事件数を見ると、ノロウイルス (481 件, 40.0%) , カンピロバクター・ジェジュニ/コリ (318 件, 26.5%) , アニサキス (127 件, 10.6%) の順で多かった。病因物質別の患者数は、ノロウイルス (14,876 人, 65.5%) , カンピロバクター・ジェジュニ/コリ (2,089 人, 9.2%) , サルモネラ属菌 (1,918 人, 8.4%) の順で多かった。(図 3, 4)
- 腸管出血性大腸菌による食中毒は、事件数 17 件 (1.4%) , 患者数 156 人 (0.7%) であり、血清型が O157, O26 によるものであった。
- 病因物質別発生状況の年次別推移では、サルモネラ属菌で患者数の増加がみられたものの、ノロウイルスとカンピロバクター以外の病因物質については、事件数・患者数ともに、減少傾向にある。
- 平成 9 年に病因物質としてノロウイルス (当初は小型球形ウイルス) を追加して以降、ノロウイルスを原因とする食中毒事件が事件数、患者数ともに高い値で推移している。
- 平成 25 年 1 月より寄生虫 (クドア, サルコシスティス, アニサキス, その他寄生虫) についても食中毒事件票に病因物質種別として追加した。それぞれの病因物質による事件数と患者数は、クドアが 17 件 169 人, サルコシスティスが 0 件, アニサキスが 127 件 133 人であった。

食中毒事件数の年次推移

事件数(件)

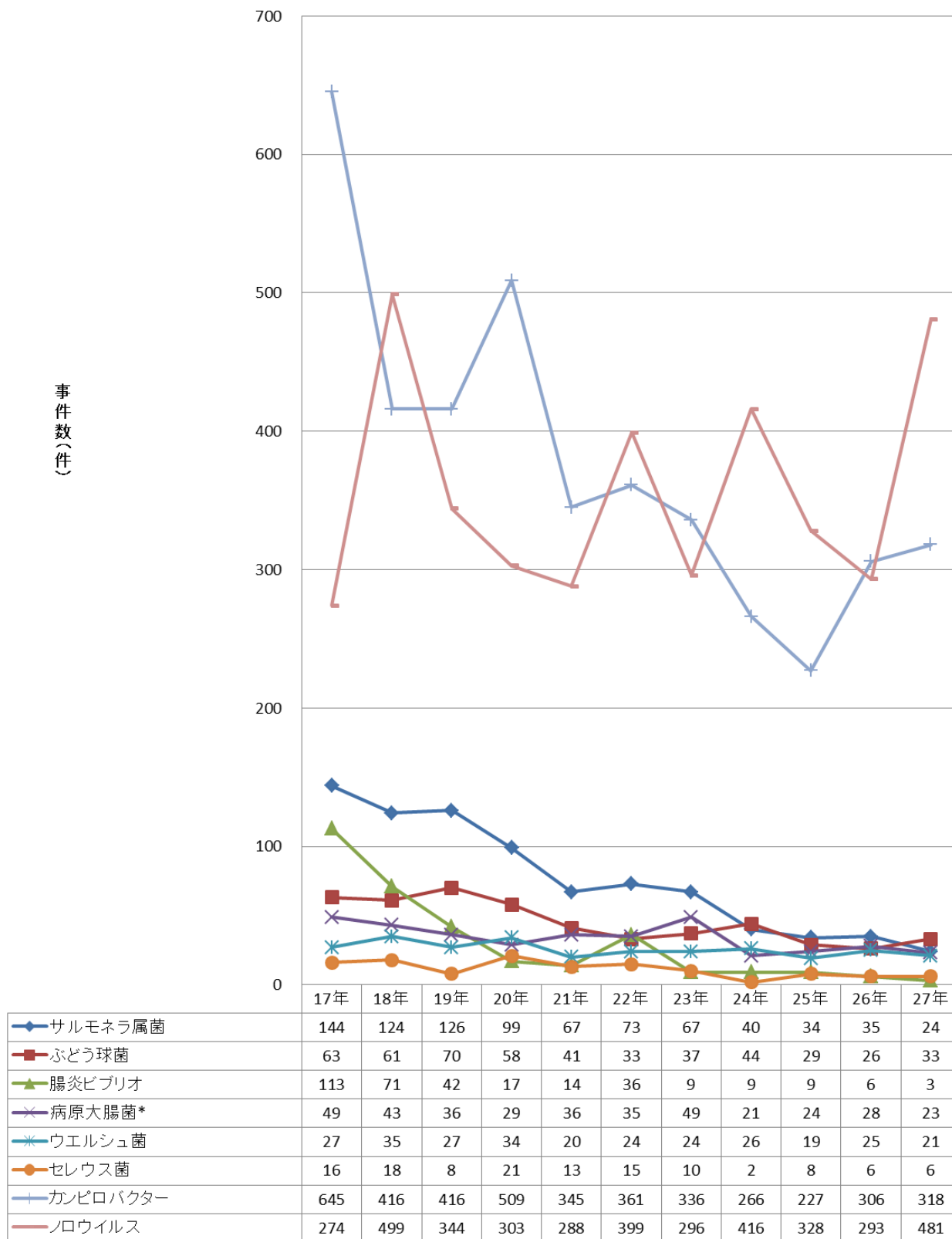


図 3 : 平成 17～27 年食中毒事件数推移

*腸管出血性大腸菌を含む。

食中毒患者数の年次推移

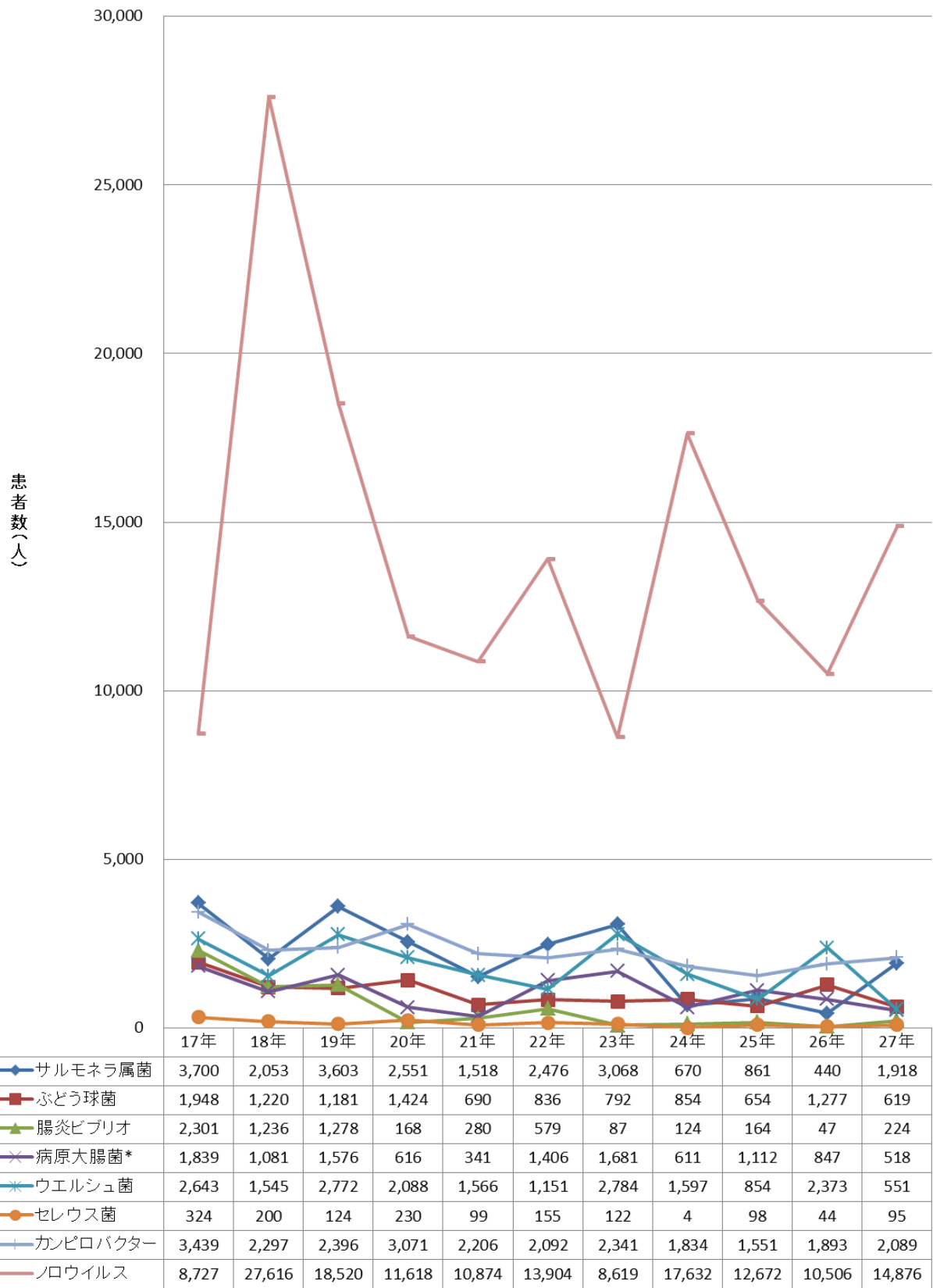


図 4 : 平成 17～27 年食中毒患者数推移

*腸管出血性大腸菌を含む。

4. 原因食品・施設別発生状況

- 原因食品の判明したものは、事件数 1,046 件(87.0%)，患者数 21,345 人(94.0%)であった。
- 原因食品別の事件数を見ると、魚介類(209 件, 17.4%)，複合調理食品(69 件, 5.7%) 肉類及びその加工品(64 件, 5.3%)，の順で多かった(「その他」を除く。以下この項において同じ)。
- 原因食品別の患者数は、複合調理食品(1,857 人, 8.2%)，次いで魚介類(1,632 人, 7.2%)，肉類及びその加工品(574 人, 2.5%)，の順で多かった。
- 原因施設の判明したものは、事件数 1,084 件(90.2%)，患者数 22,355 人(98.4%)であった。
- 原因施設別の事件数を見ると、飲食店(742 件, 61.7%)に次いで家庭(117 件, 9.7%)，旅館(64 件, 5.3%)の順で多かった。
- 原因施設別の患者数は、飲食店(12,734 人, 56.1%)，仕出屋(4,330 人, 19.1%)，旅館(2,016 人, 8.9%)の順で多かった。

5. その他

平成 27 年食中毒発生状況の詳細等については、厚生労働省生活衛生・食品安全部ホームページ「食中毒に関する情報」(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/>)で公開している。

患者数500人以上の事例(平成27年)

	原因施設 都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品	病因物質	患者総数	死者総数	摂食者総 数
1	愛知県	2015/3/3	仕出屋	不明(平成27年3月2 日から3月4日の昼 食弁当)	ノロウイルス	576	0	12,211
2	愛知県	2015/12/7	仕出屋	不明(12月7日の弁 当)	サルモネラ属菌	1,267	0	3,926

死者が発生した食中毒事例(平成27年)

	原因施設 都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品	病因物質	患者総数	死者総数	摂食者総 数	死者年齢
1	札幌市	2015/6/11	家庭	不明	コルヒチン	2	2	2	70歳～:2人
2	札幌市	2015/6/21	家庭	イヌサフラン(推 定)	植物性自然毒	1	1	1	70歳～:1人
3	山形県	2015/9/22	家庭	生のイヌサフラン (推定)	植物性自然毒	1	1	1	70歳～:1人
4	福岡県	2015/3/28	不明	ふぐ(内臓)(推定)	動物性自然毒	1	1	3	70歳～:1人
5	宮崎県	2015/2/16	家庭	アオブダイ	動物性自然毒	1	1	1	70歳～:1人

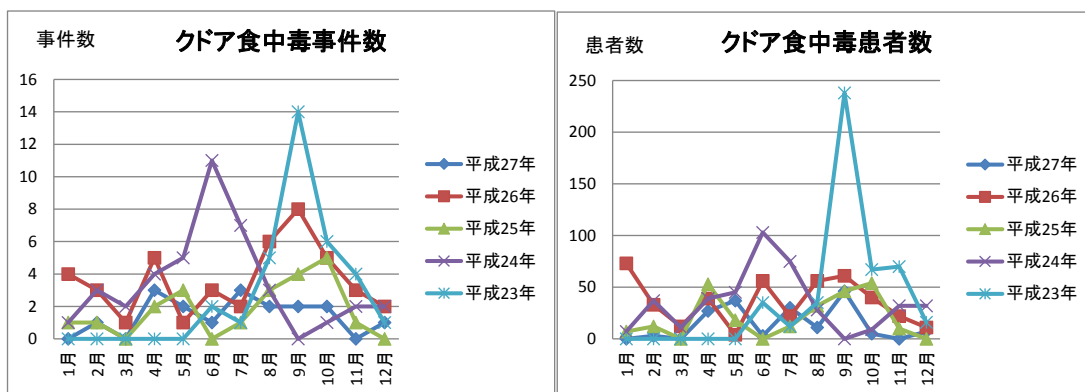
クドアを病因物質とする食中毒事例

1. 事件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	0	1	0	3	2	1	3	2	2	2	0	1	17
平成26年	4	3	1	5	1	3	2	6	8	5	3	2	43
平成25年	1	1	0	2	3	0	1	3	4	5	1	0	21
平成24年	1	3	2	4	5	11	7	3	0	1	2	2	41
平成23年	-	-	-	-	-	2	1	5	14	6	4	1	33

2. 患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	0	3	0	27	37	3	30	11	46	5	0	7	169
平成26年	73	33	12	39	4	56	22	56	61	40	22	11	429
平成25年	7	12	0	53	18	0	12	32	46	54	10	0	244
平成24年	7	37	11	39	45	103	75	28	0	9	32	32	418
平成23年	-	-	-	-	-	35	12	35	238	67	70	16	473



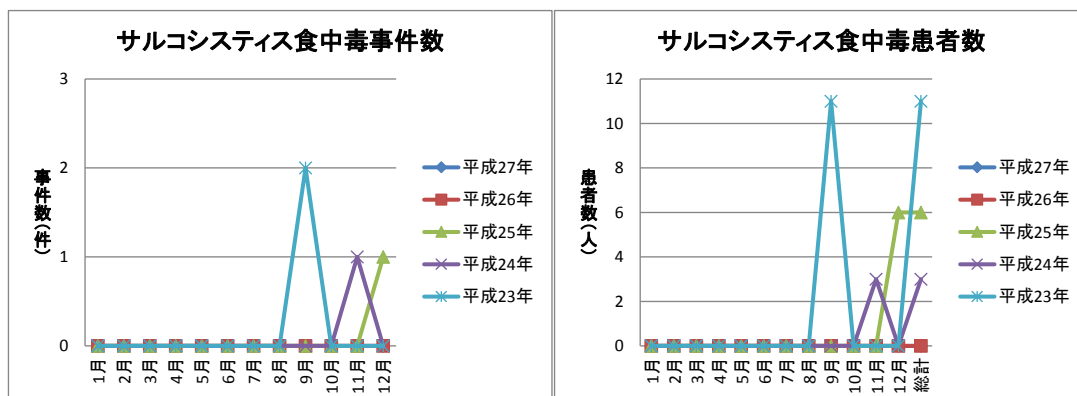
サルコシステリスを病因物質とする食中毒事例

1. 事件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
平成23年	-	-	-	-	-	0	0	0	2	0	0	0	2

2. 患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
平成24年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
平成23年	-	-	-	-	-	0	0	0	11	0	0	0	11



アニサキスを病因物質とする食中毒事例

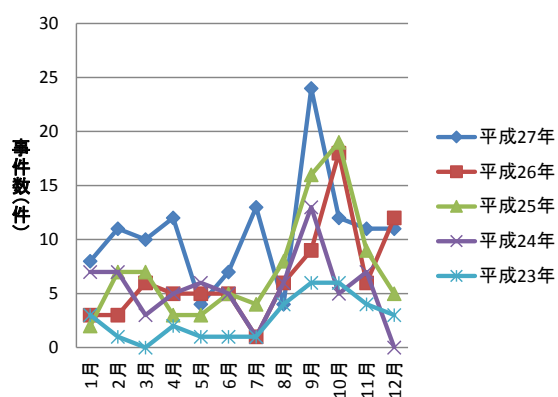
1. 事件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	8	11	10	12	4	7	13	4	24	12	11	11	127
平成26年	3	3	6	5	5	5	1	6	9	18	6	12	79
平成25年	2	7	7	3	3	5	4	8	16	19	9	5	88
平成24年	7	7	3	5	6	5	1	6	13	5	7	0	65
平成23年	3	1	0	2	1	1	1	4	6	6	4	3	32

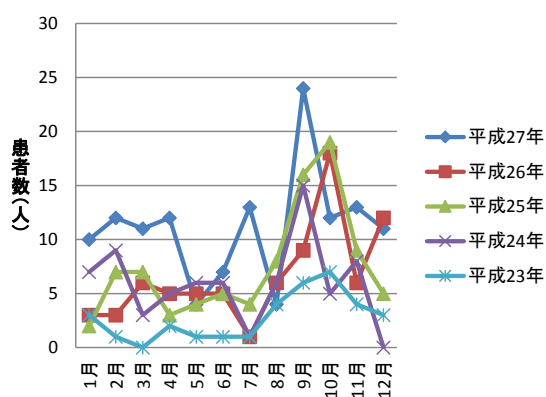
2. 患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
平成27年	10	12	11	12	4	7	13	4	24	12	13	11	133
平成26年	3	3	6	5	5	5	1	6	9	18	6	12	79
平成25年	2	7	7	3	4	5	4	8	16	19	9	5	89
平成24年	7	9	3	5	6	6	1	6	15	5	8	0	71
平成23年	3	1	0	2	1	1	1	4	6	7	4	3	33

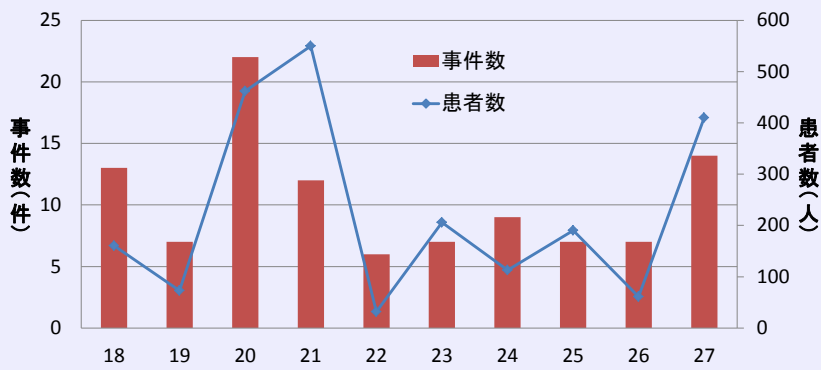
アニサキス食中毒事件数



アニサキス食中毒患者数



ヒスタミン食中毒発生状況



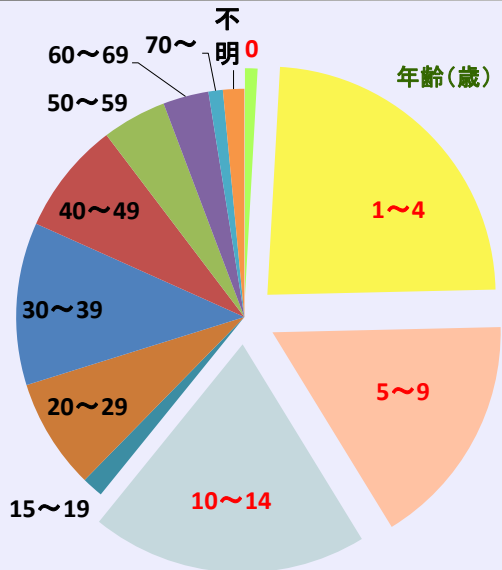
(平成)	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	計
事件数	13	7	22	12	6	7	9	7	7	13	103
患者数	160	73	462	550	32	206	113	190	61	405	2252



Ministry of Health, Labour and Welfare

1

ヒスタミン食中毒患者年齢分布



平成18~27年



Ministry of Health, Labour and Welfare

2